

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	海上ナビゲーションシステムに関する技術開発		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度/平成23年度		担当課室	技術政策課		課長	池田 陽彦	
会計区分	一般会計		施策名	44 技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国土交通省技術基本計画(平成20年4月策定) 新交通ビジョン(平成20年6月交通政策審議会海事分科会答申) 第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	船舶自動識別装置(AIS)を活用し、航路標識、気象情報、航行制限水域、海上障害物、港湾情報等の船舶の航行の安全に関する情報をリアルタイムで分かりやすく表示する技術を開発し、陸船間における情報提供・共有の高度化を図ることにより、船舶がふくそうする海域での事故半減及び船舶交通の安全性・利便性の向上を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	AISが有する仮想の航路標識を表示させる機能(バーチャル航路標識機能)やパイナリーデータによる情報伝送機能等のICT技術を活用し、航路標識、気象情報、航行制限水域、海上障害物、港湾情報等の船舶の航行の安全に関する情報を一目でわかるよう、画面上に情報を重ねて提供する航行支援システムを、平成21年度から23年度において開発する。 【年度計画】 (平成21年度) ビジュアル情報提供技術及び航行支援情報(コンテンツ)解析技術の技術開発を実施する。 (平成22年度) 平成21年度に実施した検討等を踏まえ、更なる発展的な技術検討を行うとともに、必要な情報を一つの電子海図上に重畳表示するシステムのプロトタイプを制作する。 (平成23年度) 平成22年度に実施した検討等を踏まえ、更なる発展的な技術検討を行うとともに、プロトタイプの改良及びプロトタイプを用いた実証実験を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	28	20	20			
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
	計	28	20	20				
	執行額	27	19	19				
執行率(%)	96.4%	97%	97%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	年度計画通りの進捗			達成	十分達成した	十分達成した	十分達成した	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	本事業は、特定の事項について、複数年度にわたり技術研究開発を行うものであり、上記の成果指標・成果実績とは別途に活動指標・活動実績を定めて実施するという性質のものではない。			活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
単位当たりコスト	19百万円		算出根拠	本事業における平成23年度の執行額				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	-	-						
	計	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	わが国沿岸域は公共性の高い水域であり、特定の民間による技術開発及び事業化が期待し難い。また、国際海事機関(IMO)等においてわが国が先導的役割を果たすためにも国が積極的に推進する必要性が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業の実施にあたっては当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠ことから、最も優れた提案をした者と契約を行う必要があるため、企画競争により委託先を選定している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	研究の進捗、予算の執行等に関し、受託者との定期的な打合せ、随時の連絡調整を行うことにより、研究の実施状況等を把握し、着実に成果を達成している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・本事業については、事業計画どおり平成23年度で当初の目的を達成したと認められることから、平成23年度で終了する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	39	平成23年行政事業レビュー	53

※平成23年度実績を記入

国土交通省
19百万円

仕様書制定
・契約履行の監督及び検査

【企画競争】

A. (独)海上技術安全研究所
19百万円

ふくそう海域での事故半減等を目指すICTを活用した新たな安全システムの構築…ビジュアル情報提供技術の開発、航行支援情報(コンテンツ)解析技術の開発、実証実験、普及等検討委員会の開催

【一般競争入札、随意契約】

B. 民間会社(10社)
8.9百万円

・AISビジュアル情報表示システムの改造
・AIS受信データ解析用データマイニングソフト購入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.(独)海上技術安全研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	研究補助者	7			
外部委託	AISビジュアル情報表示システム改造等	6			
物品購入	AIS受信データ解析用データマイニングソフト等	3			
その他	会議開催経費(謝金、旅費)、職員旅費、電話料	1			
一般管理費	光熱水費	1			
消費税		1			
計		19	計		0
B.(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	AISビジュアル情報表示システム改造拡張機能開発作業等	5.3			
計		5	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)海上技術安全研究所	ふくそう海域での事故半減を目指すICTを活用した新たな安全システムの構築	19		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西	AISビジュアル情報表示システム改造	5	1	99.2%
		AISビジュアル情報表示システムの気象海象表示改造	0.3	随意契約	
2	(株)数理システム	AIS受信データ解析用データマイニングソフト購入	2	1	100.0%
3	MHIマリンエンジニアリング(株)	豊竜丸 軸馬力計取外し作業	0.5	2	100.0%
4	<small>(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西ビジネス事業本部e-コネクティブ事業部</small>	GEOPLATS Developer Network購入	0.2	随意契約	
5	日本航空電子工業(株)	FOG姿勢計測装置JCS7402-A修理	0.2	随意契約	
		FOG姿勢計測装置JCS7402-A故障に関する診断	0.1	随意契約	
6	(株)ライトストーン	3Dグラフ作成ソフトウェア	0.1	随意契約	
7	(株)弘久社	資料印刷・製本	0.1	随意契約	
8	KDDI(株)	電話料	0.1	随意契約	
9	(有)木村商店	Acrobat ProfessionalX	0.1	随意契約	
10	松栄堂書店	船舶明細書2012 CD-ROMセット	0.1	随意契約	

※計数は、原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。